
省エネモード

さゆき

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

省エネモード

【Zコード】

Z5448D

【作者名】

さゆき

【あらすじ】

街に輝くイルミネーション。冬の寒い中でも、思わず足を止めて見てしまう。一方、環境問題で省エネが重要視されている。そんな社会で思うことを、ヒツセイにした。

冬。

街にはクリスマスの頃から、イルミネーションがきれいだ。

たくさんの電飾。

きらめく光のベールに包まれた街路樹やモニュメント。

私はイルミネーションが好き。

光のトンネルをぐぐりながら、光のツリーを見上げながら、道行く人々が笑顔になるのが好き。

* * *

職場で、環境問題の話題が出た。

南極の氷が溶ける。

地球温暖化。

リサイクルやCO₂の削減。

話題は尽きなかつた。

派遣の女性がぼそつと言つた。

「イルミネーションをやめるだけで、かなり省エネだと思つけど」

その言葉に、なるほど…と思つた。

だけど、不謹慎かな。

それでも少しは明るい気持ちさせてくれるイルミネーションは、なくならないで欲しいな、と思つ。

その代わり、普段から、使わない部屋の電気はこまめに消したり、生活の中で少しどもどもすることをしていかなくては、ね。

私の街にもイルミネーションがある。バスロータリーの中央にある大きな木に、毎年たくさんのかじらめく電球が輝く。

電気代もばかにならないはずだ。

近くに、募金ボックスが設置されている。私も心ばかりの募金をする。

楽しむには、お金がかかる。

二酸化炭素を出すなら、その負担を支払つ。余分にイルミネーションで楽しむにも、お金がかかる。

派遣さんが言った言葉も、確かにわかる。でも、イルミネーションも好き。

来年の今頃、また同じ思いで悩んでるのかも…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5448d/>

省エネモード

2011年1月26日23時30分発行